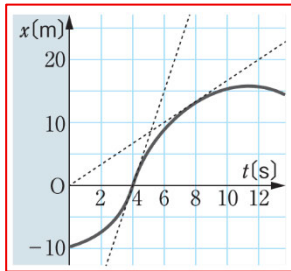
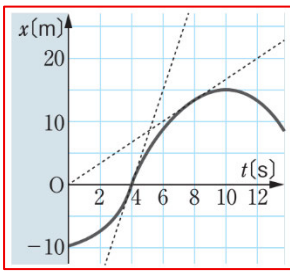
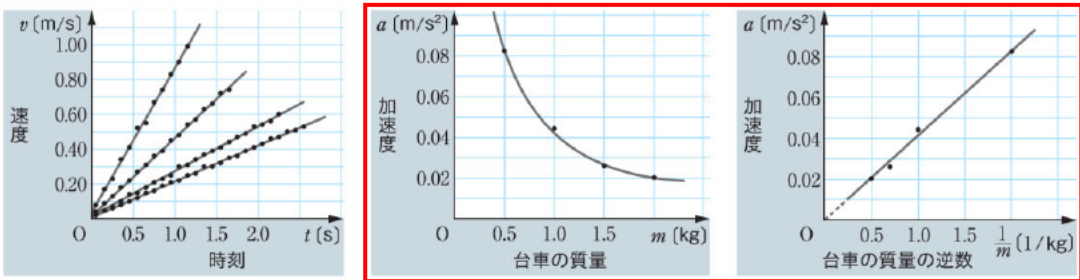
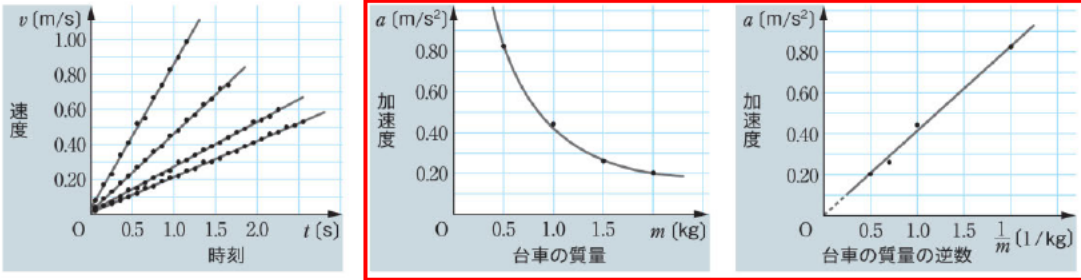


番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	9	8	◆問4 次の(1)~(8)について、xの値を求めよ。	。ただし、平方根はそのまま用いてよい。
2	9	9	◆問5 次の問いに答えよ。	。ただし、$\sqrt{3} = 1.7$ とする。
	262	左段 問5	◆問5 (1) 5.0 N (2) x方向：1.0 N、y方向：$\sqrt{3}\text{ N}$ (3) x方向：0.5 N、y方向：$0.5\sqrt{3}\text{ N}$	<u>0.50</u> <u>0.85</u> <u>1.7</u>
3	42	3-4	(1) 手からはなれてから <u>1.0 s</u> 後、<u>2.0 s</u> 後のボールの加速度を求めよ。 (2) 手からはなれてから <u>1.0 s</u> 後、<u>2.0 s</u> 後のボールの速度を求めよ。	<u>2.0</u> <u>3.0</u> <u>2.0</u> <u>3.0</u>
	262	右段 問17	◆問17 (1) <u>1.0 s</u> 後：9.8 m/s^2 <u>2.0 s</u> 後：9.8 m/s^2 (2) <u>1.0 s</u> 後：<u>15 m/s</u> <u>2.0 s</u> 後：<u>25 m/s</u> (3) 5.0 s	<u>2.0</u> <u>2.0</u> <u>3.0</u> <u>25</u> <u>34</u>
4	53	節末 問題1 図		

番号	訂正箇所		原文	訂正文															
	ページ	行																	
6	71	表 B	↓表 B 実験 B の結果 <table><tr><th>質量 [kg]</th><th>力の大きさ [N]</th><th>加速度 [m/s²]</th></tr><tr><td>0.50</td><td>0.49</td><td></td></tr><tr><td><u>1.0</u></td><td>0.49</td><td></td></tr><tr><td><u>1.5</u></td><td>0.49</td><td></td></tr><tr><td><u>2.0</u></td><td>0.49</td><td></td></tr></table>	質量 [kg]	力の大きさ [N]	加速度 [m/s ²]	0.50	0.49		<u>1.0</u>	0.49		<u>1.5</u>	0.49		<u>2.0</u>	0.49		<u>1.00</u> <u>1.50</u> <u>2.00</u>
質量 [kg]	力の大きさ [N]	加速度 [m/s ²]																	
0.50	0.49																		
<u>1.0</u>	0.49																		
<u>1.5</u>	0.49																		
<u>2.0</u>	0.49																		
7	73	図 71	(別添No.1 参照)	(別添No.1 参照)															
8	79	Connect	(別添No.2 参照)	(別添No.2 参照)															
	81	Connect	(別添No.3 参照)	(別添No.3 参照)															
9	91	Connect	Connect 後ろ向きに歩いているとき、足の裏にはたらく摩擦力の向きは前向きだろうか、それとも後ろ向きだろうか？	<u>歩きはじめた</u>															
	92	前ページの答え	前ページの答え▶<u>前向き。例えば、砂などで足がすべった時、足は地面に対して後ろ向きにずれる。このずれを妨げる向きに摩擦力が働く。</u>	<u>後ろ向き。重力以外に受けている力は、地面からの垂直抗力と摩擦力である。この力によって動き出したので、後ろ向きの摩擦力を受けている。</u>															

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
10	107	15-17	図 11 のように、スノーボードで左側の斜面からすべる人の運動を考えてみよう。重力のする仕事は人の運動エネルギー<u>増減</u>させるようすがわかる。	<u>を増減</u>
11	262	右段 考えて みよう (p.20)	(3) <u>3800</u> 日	<u>3.7×10^3</u>
12	262	右段 Ex.問 3	◆ Ex.問 3 (類題) <u>8.0 m/s</u>	<u>右向きに 8.0 m/s</u>
13	263	左段 話し合 ってみ よう (p.47)	これを水平方向の変位の式に代入すると、$x = v_0 \cos \theta \cdot t$ $= \frac{2v_0^2}{g} \cos \theta \sin \theta$ となる。つまり、最も速くに飛ぶのは、 <u>$\cos \theta \sin \theta$</u> が最大になる角度 θ である。よって、②。	これを水平方向の変位の式に代入すると、$x = v_0 \cos \theta \cdot t$ $= \frac{2v_0^2}{g} \cos \theta \sin \theta = \frac{v_0^2}{g} \sin 2\theta$ となる。つまり、最も速 くに飛ぶのは、<u>$\sin 2\theta$</u> が最大になる角度 θ である。よって、 ②。
14	263	右段 問 30	③ $\vec{F}_1$ と $\vec{F}_2$, $\vec{F}_3$ と $\vec{F}_4$ と <u>$\vec{F}_5$</u>	<u>の合力と</u>

別添No.	原文	訂正文
1	 ↑図 71 (a) v-t グラフ (b) a-m グラフ (c) a-$\frac{1}{m}$ グラフ	
2	 <u>静止している物体に力を加えたとき</u>，力の向きと異なる向きに物体が動き出すことはあるか？	 水平な床の上で<u>静止している物体に水平方向に力を加えたとき</u>，力の向きと異なる向きに物体が動き出すことはあるか？
3	 <u>動いている物体に力を加えたとき</u>，力の向きと異なる向きに動くことはあるか？	 水平な床の上を<u>運動している物体に水平方向に力を加えたとき</u>，力の向きと異なる向きに動くことはあるか？